

氏名 三島伸治

## 主論文審査の要旨

### 《本文》

本学位請求論文（以下、本論文という）は、博多湾に同所的に生息するホンヤドカリ属2種（ヨモギホンヤドカリ，ユビナガホンヤドカリ）の生活史を、繁殖生態と貝殻利用を中心にまとめ、両種の共存機構を明らかにしたものである。本論文の構成は、序論（現在までのヤドカリ類の生活史研究の概要）、第1章（両種の生活史の比較）、第2章（両種の貝殻に対する好みと実際に利用している貝殻の比較）、第3章（胚休眠というヨモギホンヤドカリの特異な生活史特性をコントロールする環境要因とその適応的意義）、第4章（総合討論）で、両種の生活史および貝殻利用の相違が、豊富なデータを元にまとめられている。

論文提出者は、野外採集と室内実験を効果的に組み合わせ、ヨモギホンヤドカリが卵生産ではユビナガホンヤドカリに劣るものの、その分を成長に投資することでユビナガホンヤドカリよりも大型化に成功し競争力を高めていることを明らかにするなど、近縁種の共存機構解明において他にない成果を上げており、これは特筆に値する。また、ヨモギホンヤドカリの胚休眠は、温度と光でコントロールされていることを実験的に示したことも本論文の顕著な研究成果である。さらに、論文提出者は現役の高校教員であるが、限られた時間の中で効率的に研究を遂行し、その中で得られたデータをすぐれた論文としてまとめていることも高く評価された。

本論文の成果の一部は、国際学会での講演や国際誌で発表されており、高い評価を受けている。審査委員会は、本論文の内容を精査すると共に、論文提出者の業績も鑑みて、本論文の内容を学位授与に値するものと認めた。

審査委員	理学専攻生命科学講座担当教授	氏名	逸見泰久
審査委員	理学専攻生命科学講座担当教授	氏名	内野明德
審査委員	理学専攻生命科学講座担当教授	氏名	滝尾 進
審査委員	理学専攻生命科学講座担当准教授	氏名	嶋永元裕